

自動車リサイクル法に基づく平成29年度再資源化等の実績公表

平成17年1月1日に施行された自動車リサイクル法(使用済自動車再資源化等に関する法律)に基づき、ビー・エム・ダブリュー株式会社が平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)に実施した使用済自動車再資源化等の状況について、下表の通り、公表致します。
引き続き、使用済自動車の再資源化等の確実かつ効率的な実施のために、一層の取り組みを推進して参ります。

平成29年度使用済自動車再資源化等の状況

シュレッダーダスト※1	再資源化の実施状況	① 引取重量 (ton)	4,594
		② 引取使用済自動車台数	17,886
		③ 委託全部利用(※2)引取シュレッダーダスト相当重量 (ton)	127
		④ 委託全部利用投入シュレッダーダスト相当重量 (ton)	127
		⑤ 委託全部利用投入解体自動車台数	495
		⑥ 基準適合施設(※3)投入重量 (ton)	4,594
		⑦ 基準適合施設排出残さ重量 (ton)	56
		⑧ 委託全部利用排出残さ重量 (ton)	4
		基準適合施設名称	※3 下記参照
	基準の遵守状況	基準再資源化率	70%以上
		実績再資源化率	98.7%
		再資源化率計算式 = $[(⑥ - ⑦) + (④ - ⑧)] \div (① + ③)$	
	収支の状況	[A] 払渡しを受けた再資源化等預託金額 (円)	228,765,633
[B] 再資源化等に要した費用の総額 (円)		186,039,165	
エアバック類 (ガス発生器)	再資源化の実施状況	① 引取重量 (kg)	20,666
		② 引取個数	124,049
		③ ②のうち、取り外し回収処理個数	31,333
		④ ②のうち、車上作動処理個数	92,716
		⑤ 引取使用済自動車台数	15,850
		⑥ ⑤のうち、取り外し回収処理台数	4,210
		⑦ ⑤のうち、車上作動処理台数	9,614
		⑧ ⑤のうち、一部取り外し回収、一部車上処理台数	2,026
		⑨ 再利用可能な重量(kg)	19,427
	基準の遵守状況	基準再資源化率	85%以上
		実績再資源化率	94.0%
		再資源化率計算式 = $⑨ \div ①$	
	収支の状況	[C] 払渡しを受けた再資源化等預託金額	79,582,867
[D] 再資源化等に要した費用の総額		64,183,118	
フロン類 (CFC12: 特定フロン、 HFC134a: 代替フロン)	破壊処理の実施状況	CFC引取重量 (kg)	21
		CFC引取台数	222
		HFC引取重量 (kg)	4,560
		HFC引取台数	16,956
	収支の状況	[E] 払渡しを受けた再資源化等預託金額	40,925,762
		[F] 破壊に要した費用の総額	30,328,691

合計	収支の状況	[G] 払渡を受けた再資源化等預託金額 [G] = [A] + [C] + [E]	349,274,262
		内 預託金利分	41,159,252
		[H] 再資源化等・破壊に要した費用の総額 [H] = [B] + [D] + [F]	280,550,974
		内 社内費用(人件費)	15,971,319
		内 社内費用(システム費)	15,316,502
[I] 収支合計 [I] = [G] - [H]	68,723,288		

参考 - 再資源化等の運営に要した関連費用を含めた収支

		自動車リサイクル促進センターの運営関連費用	13,348,266
		ASRリサイクル関連費用	3,437,791
		[J] 合計	16,786,057
		[K] 全体収支 [K] = [I] - [J]	51,937,231

※1.シュレッツ 破碎(シュレッダー)された廃車ガラから金属類を回収した後に残る樹脂、ウレタン、繊維、
ダーダスト: 金属片等の複合物質。 ASR (Automobile Shredder Residue)。

※2.全部利 解体業者が電炉・転炉等の事業者と協力して、シュレッダーダストを生じさせずに使用済
用: 自動車を処理することにつき、主務大臣の認定を受けたもの。

※3.基準適 法に定める基準に適合した高水準のリサイクルが行える施設。当社では、他社と連携して
合施設: 豊通りサイクル株式会社 ASR再資源化事業部へ再資源化を委託しています。
詳細は以下のリンクより、ホームページを参照ください。

[> 豊通りサイクル株式会社 ASR再資源化事業部 \(ホームページ リンク\)](#)